

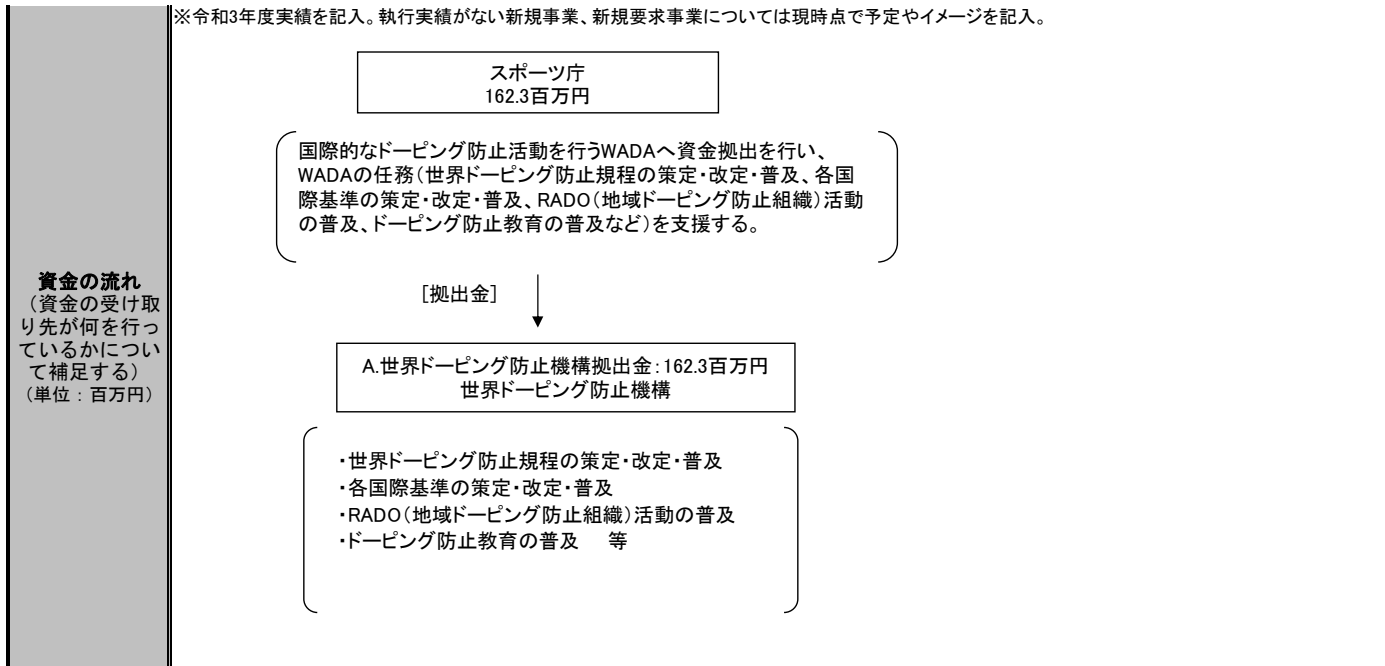
令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	世界ドーピング防止機構拠出金			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者			
事業開始年度	平成14年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当)付		参事官(国際担当) 八木 和広			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」第14条・15条 スポーツ基本法第2条・29条 スポーツにおけるドーピングの防止活動の推進に関する法律 第16条			関係する 計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定)					
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ドーピングは、競技者の健康を損ね、スポーツの価値を脅かすなどの問題があり、世界的規模での幅広い防止活動が求められている。我が国は、世界ドーピング防止機構(WADA)のアジア地域代表常任理事国として、またユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」の締結を踏まえ、国際的なドーピング防止活動を行うWADAへ資金拠出を行い、WADAの任務を支援することによって、ドーピングのない健全なスポーツの国際的な普及・発展を図る。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	国際的なドーピング防止活動を行うWADAへ資金拠出を行い、WADAの任務(世界ドーピング防止規程の策定・改定・普及、各国際基準の策定・改定・普及、RADO(地域ドーピング防止組織)活動の普及・促進、ドーピング防止教育の普及・促進など)を支援する。									
実施方法	その他									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	165.3	165.3	162.3	162.3	162.3			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		165.3	165.3	162.3	162.3	162.3			
	執行額		165	165	162	-				
	執行率(%)		100%	100%	100%	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		100%	100%	100%	-				
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	世界ドーピング防止機構拠出金	162	162	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。						
	計	162	162							
活動内容 (アクティビティ)	WADAへの拠出金の提供を通じた、世界的なアンチ・ドーピングの取り組みへの貢献									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	世界的なアンチ・ドーピングの取り組みに貢献するため、拠出金を提供する。	WADAへの資金拠出	活動実績	US\$	1,502,800	1,502,800	1,502,800			
			当初見込み	US\$	1,502,800	1,502,800	1,502,800	1,502,800	1,502,800	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	17,000,000US\$×0.5×0.1768=1,502,800US\$			単位当たり コスト	US\$	1,502,800	1,502,800	1,502,800	1,502,800	
	各国政府が、2002年WADA予算総額(17,000,000US\$)の50%を拠出し、そのうち、日本の負担割合は17.68%とすることが決定された(平成13年5月、国際政府諮問グループ第3回会議)。			計算式	US\$/国	1,502,800/1	1,502,800/1	1,502,800/1	1,502,800/1	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	本事業は、国際的なドーピング防止活動を行うWADAへ資金拠出を行い、WADAの任務を支援することによって、ドーピングのない健全なスポーツの国際的な普及・発展を図る。	ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」の締結国数	成果実績	国	188	191	191	-	-	
			目標値	国	195	195	195	195	195	
			達成度	%	96.4	97.9	97.9	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	UNESCOウェブサイト http://www.unesco.org/eri/la/convention.asp?KO=31037&language=E									

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績							
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標									
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			参考指標;日本人職員数の実績(会計年度は毎年1月から12月末まで)	実績	人	4	4	4	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	
財政再生計画・新経済・政策評価	政策	11 スポーツの振興								
	施策	11-4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_11-4.pdf						
			該当箇所	2ページ						
事業所管部局による点検・改善										
	項目			評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	本事業は、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画においてその必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。スポーツ界の透明性や公平・公正性を向上させることは、誰もが安全かつ公正な環境の下でスポーツに参画できる機会を充実させるための基礎条件であり、次代を担う青少年が、スポーツを通じて、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度等を培っていくためにも重要であることから、広く国民のニーズがある事業である。なお、日本は、アジアで唯一のWADA常任理事国として、国際的なドーピング防止活動の推進を図る義務があるため、国が推進していく必要がある。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	平成12年11月の国際政府間諮問グループ(IICGADS)第2回会議において、各国政府がWADAの年間予算額の50%を拠出し、スポーツムーブメント側が同額を拠出する合意がなされており、我が国も政府として拠出金を支出する必要がある。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	第3期スポーツ基本計画において、政策目標として掲げている「クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上」を推進するために国が取り組む具体的施策展開として、WADA等と連携した国際的なドーピング防止活動への貢献が明記されるなど、優先度の高い事業となっている。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-						
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無	WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、予算、決算等について把握に努めている。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、予算、決算等の審議を通じて、妥当な支出となっていることの確認に努めている。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、予算、決算等の審議を通じて、合理的な支出となっていることの確認に努めている。					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、予算、決算等の審議を通じて、使途が目的に必要なものとなっていることの確認に努めている。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、予算、決算等の審議を通じて、効率的な使途となっていることの確認に努めている。						

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」の締結国数は着実に増加しており、ドーピング防止活動に関わる国が増えることにより、ドーピングのない健全なスポーツの国際的な普及・発展に寄与している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	WADAへの拠出金の支出であり、委託事業等になじむものではなく、本省による直接執行が最も実効性の高い手段である。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みどおりの資金拠出を行っている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-
	事業番号		事業名	
点検・改善結果	点検結果	予算の執行状況、活動実績については、WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、予算、決算等について把握に努めている。また、本事業では、国際的なドーピング防止活動を行うWADAに対して支援することにより、ドーピング防止活動の国際的な普及・発展を図っており、今後とも、WADAの活動、予算、決算等についての把握に努めつつ、アジア地域代表常任理事国としての責任を果たしていく必要がある。		
	改善の方向性	我が国が世界ドーピング防止機構(WADA)やユネスコ締約国会議に出席し、世界のドーピング撲滅に向けたWADAの戦略、実施計画、改革方策及び予算策定等の議論に参画し、各国政府等から集まった予算を有効に活用するとともに、アンチ・ドーピング活動が進んでいない国々に働きかけユネスコ規約の締約国を増加させていくことにより、クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上を図っていく。		
外部有識者の所見				
外部有識者による点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
一部の改善内容	この事業は、成果目標は設定されているものの、事業目的の達成につながるのかが不明確であるため、引き続き事業目的の明確化及び成果指標の見直しを工夫をすべきである。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
執行等改善	世界ドーピング防止機構が、戦略計画を策定し、これを受けて、戦略計画を実施するための運営計画や評価を行うための指標を設定することになっていることを踏まえ、より妥当な指標や目標値の検討に努めていく。			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成23年度	350			
平成24年度	388			
平成25年度	351			
平成26年度	344			
平成27年度	336			
平成28年度	316			
平成29年度	339			
平成30年度	339			
令和元年度	文部科学省	-	0332	
令和2年度	文部科学省		0335	
令和3年度	2021	文科	20	0357

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.世界ドーピング防止機構			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
世界ドーピング防止機構拠出金		世界ドーピング防止規程の策定・改定・普及、各国国際基準の策定・改定・普及、RADO(地域ドーピング防止組織)活動の普及、ドーピング防止教育の普及等	162.3			
計			162.3	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	世界ドーピング防止機構	-	世界ドーピング防止規程の策定・改定・普及、各国国際基準の策定・改定・普及、RADO(地域ドーピング防止組織)活動の普及、ドーピング防止教育の普及等を支援するための拠出金の支払い	162	その他	-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	